

# 集え、世界の若き科学者達よ！

## =国際舞台TSUKUBAからのメッセージ=

第5回日中韓大学院生フォーラムがいよいよ9月21日から開催されます。本学では、国内外の大学からの続々と参加表明が届いており、実行委員である学生達も猛暑の続く中、開催準備に携わっております。

今回、ご紹介する白戸秀さんは各国の科学者達を出迎える学生リーダーです。現在、植物系統分類学研究室に所属する博士課程1年の白戸さんは、ある日突然、生命環境系の教授に呼び止められて、「学生リーダーの大役」をゲットした彼も未来を見据える目を持つ若き科学者です。

その白戸さんにお話を伺いました。

### ◎素顔の学生リーダー

「日中韓大学院生フォーラム」は学類生の頃から知っていましたが、実はフォーラム運営に参加するのは今回が初めてです。まさか、学生リーダーとして運営側に参加するとは思ってもみませんでした。ある日、廊下を歩いていたら、先生から「白戸君、白戸君、ちょっとおいでよ」といきなり呼ばれて、「何ですか？美味しいものでもあるんですか？」って感じで研究室について行ったら、「日中韓大学院生フォーラム」の学生リーダーをやってみないか」というお話だったんです。

その先生と知り合ったのは、その先生が携わっておられた“AsOBiNet” (Asia Oceania Biology Student Network =アソビネット)に学類生の時に参加したのがきっかけです。(写真)

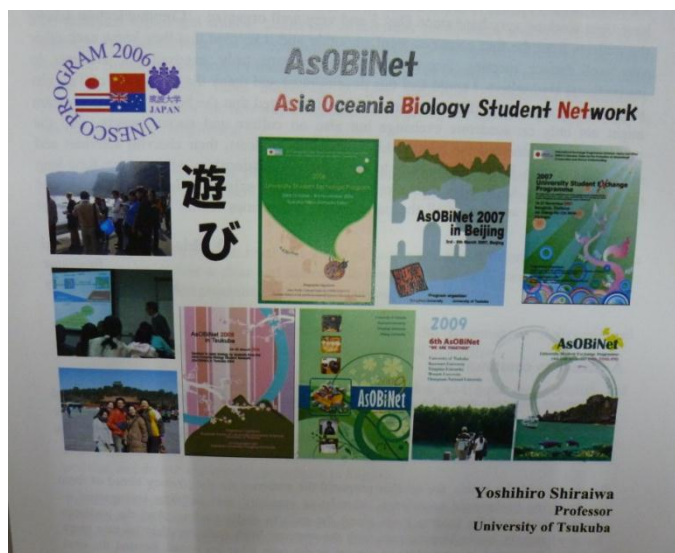
### ◎AsOBiNet から国際学会へ

“AsOBiNet”も学生による学術交流ではありますが、その名から連想するイメージ通り、「遊び心満載」の国際交流で私もタイに行ったり、日本での開催時にはお客様を案内したりしていました。もっとも、AsOBiNetは小規模で日本とタイ、その他の国の学生が少しずつ集まって親密な雰囲気催しでした。

日中韓フォーラムは、AsOBiNetよりももっと大きな規模で開催されます。しかも年々、規模が拡大しています。今回の日中韓大学院生フォーラムにしても、日本、中国、韓国がメインではありますが、タイ、フランス、イギリス、ドイツからも参加します。

### ◎「研究」を発信する方法を学ぶ

日中韓大学院生フォーラムとは、いわゆる国際学会なんですね。通常、学生はそれに参加することはできても、運営する側になるというのはなかなかありません。しかもこれほど大規模な学会を、ホスト役で中心になって、いろいろ企画するのは、将来的にはあるかもしれないが、学生のうちにやれる機会はまずありません。これほど良いチャンスはありません。





当然、忙しくなると思います。事務局の方や、他の学生スタッフもいるけど、プログラムの編成など統括する立場にありますから。だけど、こういった学会の運営スキルを学べることは良い経験となります。研究というのはただ「研究する」だけで成り立つわけではなくて、いろいろな人を集め発表する場を企画することも重要です。

そのような舞台裏をどのように運営していくかを経験してこそでもあるので、間違いなく今後の役に立ちますね。

#### ◎告知、運営、後進の育成へと繋がる絆

学内からの参加者募集は、最初の広報だけだとなかなか集まりません。そのため、修士課程の授業で宣伝させていただいたり、知人を招いたり、周囲の人間を巻き込むことも大切です。そうした巻き込まれた人たちが来年、再来年の運営スタッフになっていく。また、参加者の中から20人程度ですが、その中の数人が核となって、来年のフォーラム、再来年のフォーラムへと運営していくシステムが成り立っています。

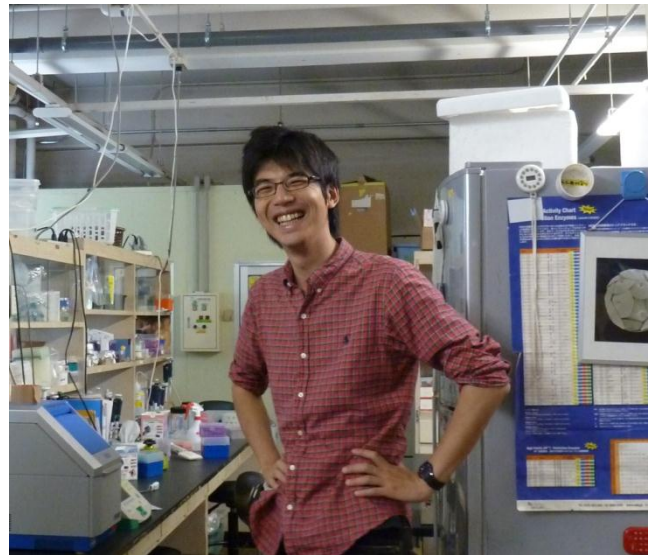
大学院生フォーラムというくらいだから、学生が主体です。私自身もそうであるように、そうした中での役割分担の技術や育成システムは、運営に携わる先生や事務局のサポートがあってこそのもので。そうした繋がりも大切なんです。

#### ◎やるじゃないか、TSUKUBA

せっかく“TSUKUBA”に人が集まってくるので、「筑波大の学生、なかなかやるな！」という印象をまずは与えてやりたいなと思います。

それにはプレゼンする研究内容が優れていることも重要ですが、運営自体がスムーズに進むことは必須です。それを成し遂げて見せて、「TSUKUBA」をアピールします。

9月22日(土)、22日(日)の発表は一般の参加者も自由に聴講できます。他の大学、他の国、特に中国の学生が「どんな研究をしているか」とか、「どんなふうに研究を進めているか」とかを生の声で聞ける機会は滅多にありません。学生に限らず、多くの人にオーディエンスとして、積極的に聞きに来てくれると良いと思っています。



---

指導教員の先生が優しすぎて、「自分は甘やかされて育っているな、って感じているんです。もっとしっかりしなくっちゃって思っています」と笑って話してくれた白戸秀さん、学生リーダーとして彼はこの9月、国際舞台「TSUKUBA」に立ちます。  
(インタビュー・フォト 藤枝八千代)